

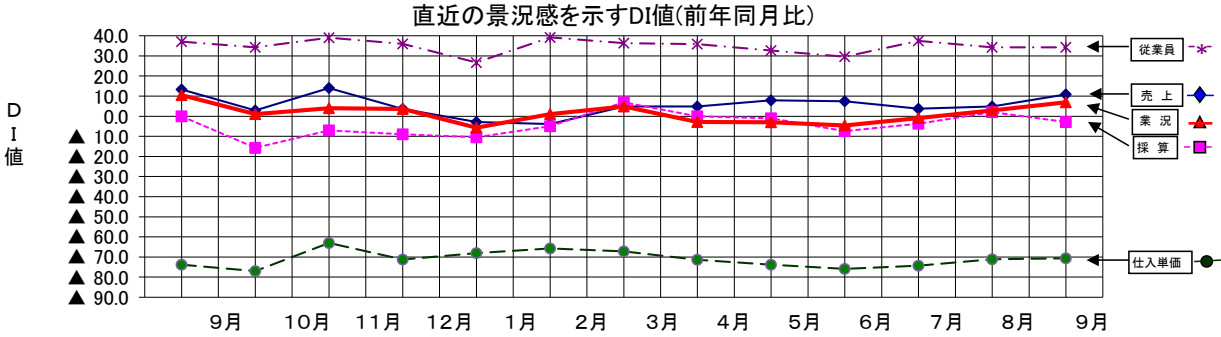
【9月の概要】

直近、先行き見通しともに「売上」が改善傾向を示すも、
従来からの諸課題に加え、利上げや頻発する台風による影響を懸念する声

直近の景況感を示すDI値は、「売上」が5.9ポイント、「業況」が4.0ポイント、「仕入単価」が0.5ポイント改善。一方で「採算」が4.9ポイント悪化。「従業員」は前月比横這い。

先行き見通しを示すDI値は、「売上」が13.7ポイント、「採算」「業況」「従業員」が4.9ポイント改善。一方で「仕入単価」が3.9ポイント悪化。

コメントからは、従来からの採用難や人手不足、人件費や諸物価の高騰などに加え、日銀による利上げや頻発する台風による影響を懸念する声が上がった。10月には最低賃金の引上げもあり、厳しい状況を予想する声も寄せられた。



【直近の景況感を示すDI】 ※DI(景況判断指数)=(良い割合)-(悪い割合)
(Diffusion Index の略)

※従業員=(不足)-(過剰)

	2023年 9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	2024年 9月	
売上	13.3	2.9	14.0	3.6	▲ 2.9	▲ 3.9	4.9	4.9	7.9	7.4	3.7	4.9	10.8	↗
採算	0.0	▲ 15.7	▲ 7.0	▲ 9.0	▲ 10.5	▲ 4.9	6.9	0.0	▲ 1.0	▲ 7.4	▲ 3.7	2.0	▲ 2.9	↘
業況	10.5	1.0	4.0	3.6	▲ 5.7	1.0	4.9	▲ 2.9	▲ 3.0	▲ 4.6	▲ 0.9	2.9	6.9	↗
仕入単価	▲ 73.8	▲ 77.0	▲ 63.0	▲ 71.2	▲ 68.1	▲ 65.7	▲ 67.2	▲ 71.4	▲ 73.8	▲ 75.9	▲ 74.3	▲ 71.1	▲ 70.6	↗
従業員	37.1	34.3	39.0	36.0	26.7	39.2	36.3	35.9	32.7	29.6	37.4	34.3	34.3	⇒

- ・プラス幅が増加したDI値：売上5.9ポイント、業況4.0ポイント
- ・マイナス幅が減少したDI値：仕入単価0.5ポイント
- ・増減のない（横這い）DI値：従業員±0
- ・プラスからマイナスに転じたDI値：採算▲4.9ポイント

【向こう3か月間の先行き見通しを示すDI】

	売上(受注・出荷)	採算	業況	仕入単価	従業員
7月回答	1.9	▲ 12.2	▲ 2.8	▲ 52.3	37.4
8月回答	6.9	▲ 2.9	2.0	▲ 42.2	35.3
9月回答	20.6	2.0	6.9	▲ 46.1	30.4

- ・見通しが改善したDI値：売上13.7ポイント、採算4.9ポイント、業況4.9ポイント、▲従業員4.9ポイント（需給均衡局面へ）
- ・見通しが悪化したDI値：仕入単価▲3.9ポイント

【業界から寄せられた主なコメント】

建設業	設備工事	現状における人員は充足しているものの、将来を担う若手の採用が全くできない。求人を出しても応募が1件も無い状態が数か月続いている。
	管工事業	採用難、人員不足、人件費・機器資材の高騰、諸物価高騰のところへ借入金利の利上げが発表。影響は大きい。
製造業	印刷	次々と出てくる値上げラッシュに歯止めがかからない。電気・ガス・ガソリン料金などは中小零細企業に直接降りかかる。
卸売業	青果	今夏の猛暑や先日の台風10号により、品質の劣化や収穫量の減少が見られ、青果物も高値で推移している。今後の天候、とりわけ秋の台風の動きが心配される。
	和洋紙・紙製品	価格転嫁で売上高はプラスとなるが、経費面ではすべての価格が上昇し、更に借入金の支払い利率が上がるため、採算はマイナス気味になる。
小売業	ホームセンター	円安の影響で輸入商品の仕入価格の高止まりが続いていたが、直近では円高に推移しており、これまでの為替の影響による粗利の低下は少なくなると見込む。
サービス業	警備	今年も最低賃金がアップすることが決まり、厳しい経営環境が続く。政府の支援策の拡充に期待したい。
	ホテル	光熱費等の値上げに加え物価上昇により景気動向の先行きが見えない中、今まで通りの利益を確保するのは厳しくなってくる。
	情報処理サービス	顧客からの作業依頼は十分にあるが、人材不足でお断りせざるを得ない作業もある。